

トリオ・セレナータ 第4回演奏会

Trio Serenata

- G.F.テレマン ソナタ イ長調 (Fl, Va)
G.F. Telemann Sonate A-Dur für Flöte und Bratsche TWV Anh41:A
- J.N.ダーフィット 三重奏曲 作品30 (Fl, Vn, Va)
J.N. David Trio für Flöte, Violine und Viola Wk.30 (1942)
- L.ベートーヴェン 眼鏡奏者のための二重奏曲 (Va(Fl), Vc(Va))
L.v. Beethoven Duett mit zwei obligaten Gläsern WoO.32
- G.カンピーニ 二重奏曲 変ホ長調 (Fl, Va)
G. Cambini Duo pour flûte et alto op.4-4
- H.ルーセンベリ セレナーデ Op.82 (Fl, Vn, Va)
H. Rosenberg Serenad für Flöjt, Violin och Viola op.82 (1940)
- H.マルトー 「組曲」Op.43 (Fl, Va)
H. Marteau "Suite" für Flöte und Bratsche op.43

今回はフルートとヴィオラの2重奏を中心にお届けします。共通点はあるものの対照的な作品を、対で取り上げました。

バロック時代の巨匠テレマンの作品と、バロック時代の組曲の形式を模倣したマルトーの近代的な作品。そして、古典派から、パリのカンピーニとウィーンのベートーヴェンの作品。

ヴァイオリンを含む3重奏曲も、ともに20世紀の交響曲作家ながら、対照的な作品を選びました。オルガン作品のような構築美が魅力のダーフィット（オーストリア）に対し、ルーセンベリ（スウェーデン）では近代的な響きの中に聞こえる北歐らしい抒情をお楽しみ頂きます。



山本 芳嗣 (フルート(Fl.))



石井 柳子 (ヴァイオリン(Vn.))



上条 真理 (ヴィオラ(Va.))

山本 芳嗣(フルート)

大阪府医師会交響楽団、大阪ノネット・アンサンブル団員。管楽器を含む隠れた名曲の探索、演奏を趣味とする。新井厚巳、湊禎子、水越典子各氏に師事。1995年日本フルート・コンヴェンション アンサンブル部門第3位入賞。

石井 柳子(ヴァイオリン)

4歳よりヴァイオリンを始め、大阪音楽大学器楽科弦楽器卒業。木田雅子、宗倫匡、故外山滋、故稲庭達各氏に師事。現在オーケストラ・学校公演(自身がコンミスを務める小さな室内楽オーケストラで各地を公演)、カルテット、スタジオ録音等、関西を中心に演奏活動を行って文化庁公演にも参加する傍ら、コンクール入賞者を輩出するなど後進の指導にも力を注いでいる。

上条 真理(ヴィオラ)

4歳より才能教育研究会にてヴァイオリンを始める。大阪音楽大学音楽学部ヴァイオリン専攻卒業。ヴァイオリンを故野村絢子、中野美奈子、故東儀幸の各氏に、室内楽、演奏論、指導論を豊嶋和史氏に師事。卒業後は大阪ハイドントリオのヴァイオリン奏者として活動。近年はフリーランスでヴィオラ奏者しても活動するほか、後進の指導にも力を注いでいる。

2018年7月8日(日)
 開場15:00 開演15:30
 ノワ・アコルデ音楽アート・サロン
 入場料 2,000円



阪急宝塚線【服部駅】より東へ徒歩5分
 梅田から阪急で約20分、宝塚から約40分
 駐車場 周辺のコインパーキングをご利用下さい。

お問い合わせ 山本 070-3990-0921